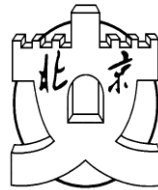


かささぎ



北京日本人学校
学校通信第7号
平成30年11月30日
校長 栗本 和明

赤信号 どうしてみんな渡るのでしょうか？

教頭 山中 正明

中国に来て1年8ヶ月。最初の頃感じていたこんな疑問も、いつの間にか「当たり前のこと」になってしまいました。立場上(?)堂々と信号無視をすることはできません。どんなに自動車が来なくても、赤信号は「止まれ」です。でも周りの人はどんどん渡っていくので、本当に取り残されたような気持ちになります。

では、どうして赤信号でもみんな渡るのでしょうか？決して道徳性とか規範意識というつもりはありません。むしろ「自己責任」という考え方が徹底しているのかもしれない。同じことはニューヨークのマンハッタンでも経験しました。周りの人がみんな信号に関係なく道路を渡るとき、日本人の自分たちだけが信号待ちをしていると、とてもじゃまになって申し訳なく感じたものです。そのことをアメリカに長く住んでいる人に聞くと、「自己責任」という返事が返ってきました。赤信号で道路を渡って自動車にひかれるのは、渡った人が悪い。それでも構わないからみんな渡るのだと言うのです。お国柄というのか、国民のものの考え方が日本とは違うのだと思うようになりました。

事務室の崔事務長さんに聞いてみました。「赤信号、どうしてみんな渡るのでしょうか？」いくつか考えを聞かせてもらうことができました。

①北京の人は信号に慣れているが、地方ではまだ信号が少ない。(もちろん自動車も少ないのかもしれませんが。)信号が青になったら渡るという習慣がついていない。

②赤信号が長すぎる。急いでいる人はとても待ってられない。

③私を感じたのと同じように、自分だけ渡らないと取り残されたような気持ちになる。

④みんなで渡れば車は止まってくれる。

どれもなるほどと納得のいくことばかりです。

中国ではどこの交差点も「右折可」ですので、横断歩道を青信号で渡るときも、常に曲がってくる自動車に気をつけなくてはなりません。「信号 青」まず「左を見て」左から来る右折車に気をつけて、道路の中央まで来たら「右を見て」対向車が右折するのに気をつける。青信号で渡るときでも常に油断できません。むしろ赤信号でも「みんなで渡れば」車が止まってくれる安心感の方が大きいかもしれません。

そんな北京でも子どもたちに安全教育を行わなくてはなりません。日本の小学校でやるように「手を挙げて横断歩道を渡りましょう」だけでは通用しません。北京流の安全指導が必要です。間違っても「みんなで渡れば大丈夫です」とは教えることはできません。日本に帰ってそんなことをしたら大変な事になります。

12月6日(木)に雅瑪多国際物流有限公司、ヤマト運輸様が小学部1年生、2年生を対象に交通安全教室を実施して下さることになりました。日本とはひと味ちがう安全教室になるのではないかと期待しています。交通安全は学校だけでなく、ご家庭での指導も大切です。どうすれば北京でも、日本でも交通事故に遭わずに生活できるか。是非この機会にご家庭でも話をなさってみてください。



6年生 修学旅行「西安」

小学部 6年生

10月17日～19日まで、歴史の深い「西安」修学旅行に行ってきました。西安では城壁の周りを歩き、そのスケールの大きさに驚き、日本の古都と似ていることに気付きました。兵馬俑坑では、一体一体違う表情をしている兵馬俑を観察し、当時の技術力のすごさと秦の始皇帝の権力の強さを感じました。兵馬俑のミニチュア作りにも挑戦しました。心を込めて作ったミニチュアは思い出に残るお土産となりました。焼き上がりが楽しみです。大雁塔では、階段を上り、塔の一番上から西安の町並みを見ることができました。塔の傾きや階段が狭いこともあり、少しドキドキした体験でもありました。その他にも、歴史的価値のある場所へ行き、知識を深めることができました。2泊3日という短い期間でしたが、子どもたちは充実した時間を過ごすことができました。実際の場所に行き、歴史を学ぶことはもちろんのこと、仲間と一緒に行った旅は一生忘れることのない、素敵な思い出となりました。



中学部 1年生のニュース

中学部 1年生

総合的な学習の時間で「北京の魅力探求プログラム」と題し、北京の魅力ある場所を調べ、日本国内の中学生に発信する計画を進めています。調査場所は、生徒自らが考え、プレゼンを行い全員で決めました。

その調査場所の1つ、「北京首都国際空港」で、全日本空輸株式会社様のご協力により、現地調査を行いました。1機の飛行機が日本から北京に到着し、再び北京を発つまでおよそ2時間弱。その間に、どのような職業の人が何を行っているだろう。生徒たちは飛行機を利用した経験から予想を立てました。「誰かが燃料を入れているはず。でもどうやって?」。数多くの疑問を抱きながら訪れた現地では、整備・接客・貨物・運航支援者など、専門のスタッフの方が質問に答えてくださいました。まるで知識のシャワーを浴びたような時間でした。その後、機内食を作るケータリング会社を見学し、機内食を試食させていただきました。普段利用している飛行機が、裏でこんなにも多くの方に支えられていることに気づくことができる貴重な1日となりました。



リーダー交代レク

小中連携部

11月9日（金）、リーダー交代レクがありました。例年は体育館で行っていましたが、今年度は、グラウンドでの開催でした。当日の午前中は大気の状態が悪く心配していましたが、お昼を迎える頃には気持ちの良い晴れ空が広がりました。新しい班長に率いられながら、〇×クイズを楽しんで歩き回っているみんなには笑顔が溢れ、とても楽しそうでした。

中学部にとっては、生徒会が初めて全校児童生徒の前に立つ機会でもありました。緊張もあったと思いますが、初めての舞台としては及第点でしょう。新しくリーダーとなった中学部の2年生は、これまで自分たちを引っ張っていてくれた3年生に代わって班員のみんなを率いることに戸惑いながらも、充実した表情を見せていました。

北京日本人学校の大きな特徴でもある「たてわり班」は、リーダーだけでなく、フォロワーの力も養われます。今後、全員がますます成長していってくれることを期待していますね！

たてわり何人?

小学部 平成30年11月30日現在

| 小学部 | | | 平成30年11月30日現在 | | | | |
|-----|----|----|---------------|-----|-----|-----|-----|
| | 男子 | 女子 | 合計 | 男子 | 女子 | 合計 | |
| 1-1 | 7 | 8 | 15 | 4-1 | 18 | 10 | 28 |
| 1-2 | 7 | 8 | 15 | 4-2 | 19 | 10 | 29 |
| 1-3 | 7 | 9 | 16 | 5-1 | 12 | 6 | 18 |
| 2-1 | 11 | 11 | 22 | 5-2 | 11 | 5 | 16 |
| 2-2 | 11 | 11 | 22 | 6-1 | 10 | 11 | 21 |
| 3-1 | 11 | 14 | 25 | 6-2 | 11 | 11 | 22 |
| 3-2 | 10 | 15 | 25 | 小総計 | 145 | 129 | 274 |

中学部

| 中学部 | | | 平成30年11月30日現在 | | | | |
|-----|----|----|---------------|-----|-----|-----|-----|
| | 男子 | 女子 | 合計 | 男子 | 女子 | 合計 | |
| 1-1 | 4 | 5 | 9 | 3-1 | 7 | 6 | 13 |
| 1-2 | 6 | 5 | 11 | 3-2 | 5 | 5 | 10 |
| 2-1 | 10 | 6 | 16 | 中総計 | 42 | 32 | 74 |
| 2-2 | 10 | 5 | 15 | 総合計 | 187 | 161 | 348 |